



2025年2月21日

各位

会社名 ハウス食品グループ本社株式会社  
代表者名 代表取締役社長 浦上 博史  
(コード番号：2810、東証プライム)  
問合せ先 広報・IR部長 三宅 英貴  
(TEL. 03-5211-6039)

### 特別損失（減損損失）の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年3月期第4四半期連結会計期間において、下記のとおり特別損失を計上する見込みとなりました。併せて、2025年3月期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 減損損失の計上

当社は、2022年9月に当社の連結子会社であるハウスフーズホールディングUSA社（本社：米国カリフォルニア州、社長：堂上 貴幸）が豆腐、PBF領域における製品ポートフォリオの拡充、最適な生産供給、販売体制の構築による中長期的な事業成長を目的に米国の豆腐および植物由来製品（以下「PBF」）製造企業のキーストーンナチュラルホールディングス社（以下「キーストーン社」）を完全子会社化いたしました。同社の完全子会社化後は、米国で豆腐事業を展開するハウスフーズアメリカ社と連携し、主に物流や販売活動に関するコスト面を中心としたシナジーを創出してまいりました。しかしながら、米国内の物価上昇による消費者志向の変化を受けてキーストーン社は高価格帯PBF製品を中心に販売が苦戦しており、当期は収益性が低下しております。この状況を踏まえて現在の事業計画の実現可能性を慎重に検討した結果、株式取得時の計画と比較して回収可能価額が低下したため、キーストーン社ののれんに関する減損損失約46億円を特別損失として計上する見込みとなりました。

当社は大豆系バリューチェーンとしての経営基盤確立に向けて、2025年1月に米国豆腐事業の組織再編を実施いたしました。ハウスフーズホールディングUSA社を事業持株会社として機能させるべく、キーストーン社を含む米国豆腐事業各社の戦略機能や販売・マーケティング機能を同社に統合しております。今後は同体制のもと、製品毎の損益マネジメントを強化し、継続的なコスト最適化、強みを生かせる製品での売上拡大を図ることで、収益力の向上を図ってまいります。

## 2. 通期連結業績予想の修正について

### (1) 2025年3月期通期連結業績予想数値の修正(2024年4月1日~2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	320,000	21,000	22,000	13,300	140.38
今回修正予想(B)	316,000	20,000	21,500	12,300	129.83
増減額(B-A)	△4,000	△1,000	△500	△1,000	
増減率(%)	△1.3	△4.8	△2.3	△7.5	
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	299,600	19,470	21,085	17,580	180.53

### (2) 修正の理由

売上高、営業利益、経常利益につきましては、主にその他食品関連事業セグメントにおける業績悪化等の影響により前回発表予想を下回る見込みです。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前述の特別損失の計上があるものの、投資有価証券の売却による特別利益の計上により、前回発表予想を下回る見込みではありますが影響は限定的となる見込みです。

なお、今回の業績予想の修正に伴う配当予想の修正はございません。

以 上